

平成18年4月28日

各 位

会 社 名 三菱倉庫株式会社  
代 表 者 取締役社長 番 尚志  
(コード番号：9301 東証第1部、大証第1部)  
問 合 せ 先 取締役業務部長 竹田 文男  
TEL (03) 3278-6611

## 三菱倉庫グループ新経営計画 [2006-2010] の策定について

当社は、2006年度（平成18年度）から2010年度（平成22年度）までの中期経営計画として、新経営計画 [2006-2010] を策定しましたので、その概要をお知らせいたします。

### 1. 基本方針

- (1) 当社グループは、倉庫事業を中核とする物流事業において、在庫管理、流通加工、運送の拡充により、最適なロジスティクスの実現にむけて、国内から海外の重点地域へとグローバルに展開し、質が高く利用しやすいサービスの提供に努めます。  
また、ビル賃貸を中心とする不動産事業において、所有地の立地に適した活用により、収益性の向上と安定した経営基盤の確保を図ります。
- (2) 当計画期間内において、主な事業分野である物流部門の営業利益を増大させ、また不動産の再開発を推進することにより、成長力を維持・向上させます。

### 2. 主要課題

#### (1) 倉庫・陸運事業の収益性向上

- ・高度な在庫管理サービスの提供に加え、流通加工、共同配送サービス等を充実させ、サービス品質の高さが求められる業務を中心としてシェアの拡大を図ります。
- ・物流アウトソーシングの需要を的確に捉えて、物流業務の一括受託を進めます。
- ・施設・作業体制の集約や拠点規模の拡大による運営効率化を進めます。

#### (2) 海外拠点の拡充と営業体制の強化

- ・お客さまのグローバルな展開にあわせて広域的な物流業務の受託に注力し、営業を強化します。
- ・米国・中国をはじめとする海外の重点地域において体制を整備し、拠点の拡充を進めます。
- ・輸送能力の増強、特に航空貨物輸送の強化を行い、陸海空の運送を効果的に組み合わせて、海外事業を拡大します。

#### (3) 港運事業の新規業務開拓

- ・コンテナターミナル・オペレーション業務等の取扱拡大を進めます。
- ・港湾関連の周縁事業分野の開拓に努めます。

#### (4) 不動産の再開発計画の策定・実施

- ・所有地の活用を中心として、新たな不動産賃貸施設を建設し不動産事業の拡大を進めます。
- ・期間中に、横浜ポートサイド地区（2期）及び江戸橋倉庫ビルの再開発計画を策定・実施します。

#### (5) 経営機能の充実

- ・グループ各社が担う機能の強化を図り、グループ全体として整合性の取れた効率の良い経営を目指します。
- ・適切な業務プロセスの確保とコンプライアンスの徹底を図るため、内部統制機能の点検・整備に努めます。
- ・リスク管理・安全対策の強化、環境保全活動への取り組みの促進など、CSRを推進します。

### 3. 計画期間・業績目標

#### (1) 期間

2006年度～2010年度（5年間）

#### (2) 業績目標（2010年度。連結）

営業収益	2,100億円
営業利益	150億円
経常利益	155億円
当期純利益	90億円

(参考) 2010年度目標と2005年度実績との比較

(単位：億円)

		2005年度 実績	2010年度 目標	05/10年度増減	
				額	率
営業収益	合計	1,665	2,100	+435	+26%
	物流事業	1,278	1,680	+402	+31%
	不動産事業	395	430	+35	+9%
	内部取引	△9	△10	△1	-
	セグメント比率	76:24	80:20	-	-
営業利益	合計	110	150	+40	+36%
	物流事業	35	65	+30	+86%
	不動産事業	110	123	+13	+12%
	親会社一般管理	△35	△38	△3	-
	セグメント比率	24:76	35:65	-	-
経常利益		119	155	+36	+30%
当期純利益		77	90	+13	+17%

(注) 2005年度実績は単位未満切捨。

### 4. 投資計画

期間中に総額675億円（不動産425、物流200、情報システム50）の投資を予定しており、原則として、営業活動によるキャッシュ・フローにより賄うこととしております。

以上